

令和5年度 障害者スポーツ推進プロジェクト
(障害者スポーツの実施環境に整備等に向けたモデル創出事業)

取組成果報告

取組テーマ：(地域の課題に対応した障害者に対するスポーツの振興、実績環境の整備)

公益財団法人B&G財団



1. 事業概要①

■ 事業実施に至る背景（B&G財団とは・・・）

B&G財団は、全国461か所に自治体の社会体育施設である「B&G海洋センター（艇庫・プール・体育館）」を建設。各地方自治体（主に教育委員会管轄）と協働で、子供たちを含めた地域住民に、スポーツや自然体験活動の機会提供のほか、地域コミュニティを活性化するための各種事業を展開。

■ 課題

「B&G海洋センター」は、地域の「スポーツとコミュニティの拠点施設」として住民に親しまれており、地域住民や子供たちを対象としたスポーツ等の事業は多数実施しているが、障がい者を対象とした事業は、充実しているとはいえない状況である。

公共スポーツ施設である「B & G 海洋センター」に、地域の障がい者がスポーツなどを継続的に楽しめる機会と環境を整え、地域での共生社会実現への一助としたい。

■ 事業概要

地域にある障がい者福祉団体などを対象に、障がい者が身近な場所でスポーツや身体活動を楽しむための「インクルーシブクラブ」を立上げ実施。また、地域の障がい者支援に関係する人・団体とネットワークを構築し、障がい者が定期的にB&G海洋センターでスポーツできる環境と基盤を整える。

■ 目的

- ①地域の障がい者が、身近な公共施設等でスポーツを楽しむための機会創出と基盤作り
- ②障がい者と健常者がともにスポーツに取り組めるインクルーシブな環境作り

■ 全国のB&G海洋センターから4自治体をモデル地域として、自治体とも協働で実施

「障がい者スポーツの推進状況・地域・周辺環境・対象」が異なる 以下の4団体を実行団体として実施

- | | | |
|-------|----------|---------------------|
| ①北陸地方 | 富山県南砺市 | 南砺市福野 B & G 海洋センター |
| ②近畿地方 | 兵庫県上郡町 | 上郡町 B & G 海洋センター |
| ③中国地方 | 山口県周防大島町 | 周防大島町 B & G 海洋センター |
| ④四国地方 | 香川県高松市 | 高松市国分寺 B & G 海洋センター |



B&G海洋センター
「体育館・プール・艇庫」を所有
※自治体によって所有施設は異なる

1. 事業概要②

1. 「インクルーシブクラブ」の立上げおよび実施

以下の3点を主としてクラブを実施

- ① 近隣の障がい者を対象としたスポーツ教室の開催（ねらい：障がい者への定期的なスポーツ機会の提供）
- ② 障がい者と健常者がともに参加するパラスポーツ等の体験会（ねらい：障がい者への理解）
- ③ 健常者（主に地域の子どもたち）対象のパラスポーツ体験会やインクルーシブ教育（ねらい：共生社会の実現に向けた地域の子供たちへの教育）

2. 指導者研修会の実施

障がい者スポーツ・アーバンスポーツ等の研修会（ねらい：地域の障がい者スポーツを支える人材の育成）

3. 「地域運営委員会」の設置と開催

地域の障がい者支援に関わる団体・人などとのネットワーク構築と定期会合の開催（ねらい：地域の障がい者スポーツ振興や持続可能な体制作り）

4. 「インクルーシブイベント」の開催

障がい者と健常者がともにスポーツを楽しむイベントやスポーツ交流会。インクルーシブクラブで練習したアーバンスポーツなどの成果発表の場も兼ねる（ねらい：障がい者と健常者が一緒に活動することにより、障がいについて考え理解を深める機会とする）

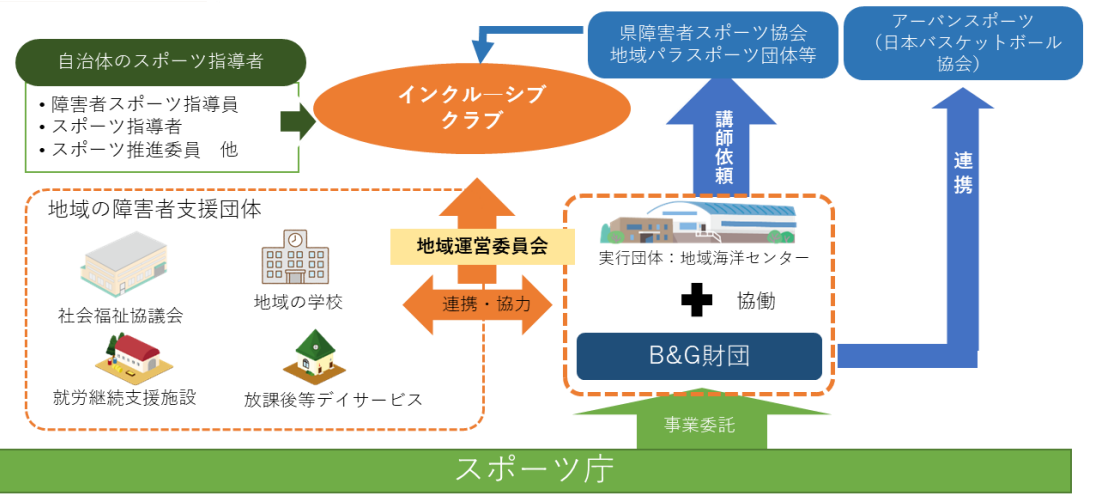
4本柱で実施

2. 事業の実施体制・スキーム

地域の障がい者支援に関する団体・人・行政担当等の関係者を巻き込んだ取り組み

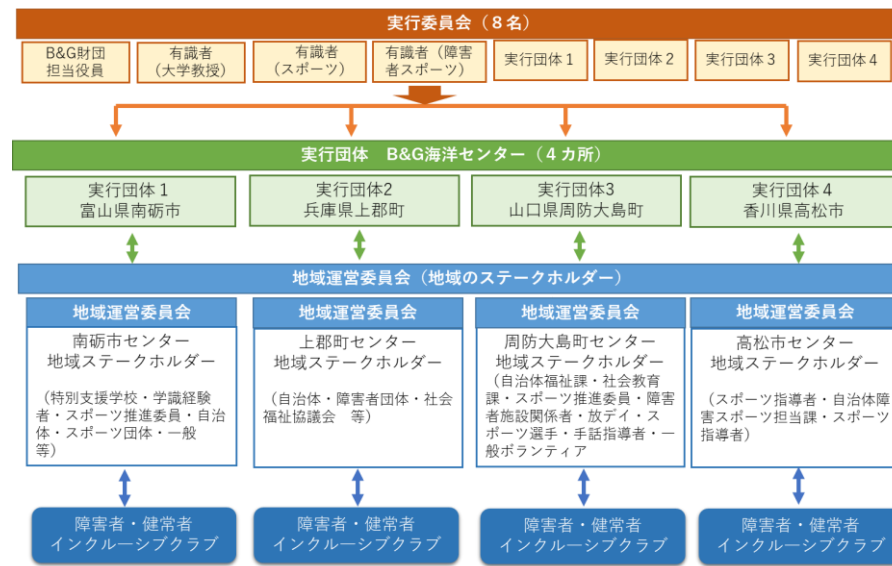
実施体制

特徴：地域の福祉団体や指導者等を巻き込んだ取り組み



組織体制

有識者による「実行委員会」を設置するほか、各地域でも「地域運営委員会」を設置。



3. 事業内容（各実施地における活動内容）

1. インクルーシブクラブ

各実行団体で、「インクルーシブクラブ」として、障がい者や障がい児への定期的なスポーツ教室や、障がい者と健常者が合同で参加するスポーツ体験会等を実施

南砺市（富山県）



トランポリン
(対象:放課後等デイサービス)

上郡町（兵庫県）



3x3・パラスポーツ
(対象:地域の障がい者)

周防大島町（山口県）



3x3・パラスポーツ 等
(対象:近隣の就労継続支援施設)

高松市（香川県）



ヒップホップダンス
(対象:市内の障がい児・障がい者)



上記をメインにその他、地域の子供等対象にも実施

その他実施例



パラスポーツ等体験
(対象:地域の子供)



パラスポーツ体験会
(対象:障がい者+地域住民)



パラスポーツ等出前授業
(対象:公立小・中学校)



カヌー・SUP体験
(対象:障がい児)



3x3交流会
(対象:障がい者+地域の子供)

2. 指導者研修会の開催



障がい者スポーツ等の研修会を開催。合計9回、109人参加。

3. 地域運営委員会の設置と開催



合計19回開催。地域における障がい者スポーツ振興の機運を高めるとともに、組織体制を構築することができた。

④ インクルーシブイベントの開催

参加者（4カ所合計）：430名
(うち、障がい者71名)

南砺市 「B&Gインクルーシブイベント ○▲□運動会」

- 日時：2024年2月23日
- 内容：障がいのある子供も無い子供も一緒に楽しめる変則ルールを導入した運動会（種目を1チーム2回実施。1回目より2回目がチーム成績を上回るよう話し合いながら進行。（変則玉入れ・しっぽ取りゲーム・チャレンジレスキュー・ドッチビー・ショートトラックリレー）
- 参加者：70名（障がい者19名含む）



上郡町 「車いすバスケットボール・3X3体験交流会in上郡町」

- 日時：2024年1月20日
- 内容：車いすバスケットボール・3x3体験交流会
- 参加者：108名（障がい者5名含む）



周防大島町 「B&Gインクルーシブフェスタin周防大島」

- 日時：2024年2月9日
- 内容：3x3、パラスポーツ（ボッチャ・モルック）交流会
- 参加者：132名（障がい者30名含む）



高松市「高松市スポーツ少年団インクルーシブイベント パラスポーツ体験会 スポーツを楽しもう」

- 日時：2024年1月28日
- 内容：ヒップホップダンス発表会、パラスポーツ交流会
- 参加者：150名（障がい者40名含む）



4. 事業の結果と考察

本プロジェクトには、障がい者や健常者（地域の子ども等）、福祉団体スタッフ等含め、延3,051名（うち、障がい者1,232名）が参加。各実行団体で、B&G海洋センターを核に、障がい者支援団体や障がい者スポーツ振興に携わる関係者等と新たな関係性を構築し、障がい者がスポーツできる環境と、子どもたちへのインクルーシブ教育など、今後の地域における障がい者スポーツ推進に向けた基盤を整えることができた

■ 各実行団体において、地域の障がい者が継続的にスポーツに取り組める機会と環境を整えた

- ・地域の障がい者団体と公共施設（海洋センター）が結びつき、近隣に住む障がい者へスポーツする機会を提供
- ・今後の発展・継続に向け、地域の障がい者支援に関係する団体や人・行政担当者などとネットワークを構築。組織体制を整えた
- ・障がい者スポーツを支える新たな人材を育成

■ 障がい者スポーツ事業の継続的实施（自立化・自走化）

- ・各実行団体で、次年度も障がい者スポーツを継続実施。今後の地域における障がい者スポーツ推進の一助となった

■ 地域の共生社会の実現に向け、障がい者スポーツ事業を具現化することができた

- ・インクルーシブクラブやインクルーシブイベントの開催は、地域の共生社会実現に向けた具体的事例として具現化できた。インクルーシブイベントには、自治体執行部（首長もしくは副首長）が視察。本プロジェクトへの理解を深めてもらうことができた。南砺市では、本プロジェクトをきっかけに、次期、南砺市「スポーツ推進計画（後期）」に障害者スポーツが明記されることとなった



課題

■ 日常的なインクルーシブ環境づくりには、更なる工夫が必要

- ・日常的に障がい者と健常者がともにスポーツを楽しむ環境づくりは（継続的な交流）更なる方策が必要

■ 継続実施に向け、障がい者スポーツを推進するための人材育成と確保が重要

- ・継続的な事業実施には、核となる人材や事業をサポートしてくれる人材（ボランティア等含む）の確保が重要。人事異動等があっても築いたネットワークやノウハウが次に引き継がれるよう体制を整えておく必要がある。

■ 事業の定着化に向けた方策

- ・事業の発展・継続性に向けて、安定した財源の確保（受益者負担や企業協賛等）が必要。

■ 事業の発展性（対象者の拡大）

- ・新たな障がい者支援団体等との連携による対象者の拡大

5. 次年度以降の計画

【今後の展開】

■ 全国のB&G所在自治体と情報共有し、障がい者スポーツ事業の普及を図る

B&G財団は「行政」「教育」「指導者」に関するネットワーク（プラットフォーム）を構築しており、様々な事業を全国的に普及させていくスキームを確立している。その事業展開スキームを使い、2022・2023年度実施した活動事例等をもとに、全国のB&G所在自治体に情報を共有し、海洋センター所在自治体での障がい者スポーツ普及に努める

南砺市（富山県）

総合型スポーツクラブの教室メニューの一環として、次年度も今年度実施した内容をベースに継続実施。課題であった放課後等デイサービス卒業生の受け皿づくりも進める。

- ・児童、生徒を対象としたクラブ展開から一般を含めたクラブ展開へ
- ・障がい児に運動を提供する場のみならず、社会との交流の場として、海洋センター事業等にも協力してもらう

上郡町（兵庫県）

次年度も愛心園の障がい者にスポーツやレクリエーション等の教室を計画。新たに「車いすテニス」を取り入れるとともに、障がい者の「マリンスポーツ体験」もチャレンジ。

周防大島町（山口県）

- ①次年度も「さつき園」を対象に、定期スポーツ教室を開催。今年度実施できなかった体育館以外のプールや艇庫での体験活動もメニューに取り入れる
- ②周防大島の子どもたちへのパラ教育の更なる推進（継続実施）
 - ・今年度実施した明新小学校、大島中学校は、次年度も継続実施。また、両校とも好評であったため、教育委員会の強みを活かし、他の学校への実施も検討。
- ③対象者の拡大とプログラムメニューの充実
 - ・「さつき園」以外の放課後等デイサービスやクリスタル（障がい児支援団体）にも参加を呼びかけ、対象者の拡大を図る
- ④パラスポーツやアーバンスポーツを通じた障がい者と健常者（小・中学生）の交流事業はもちろん、能登半島地震を教訓に防災運動会のプログラムも取り入れ、災害時に役立つ事業を検討中。

高松市（香川県）

次年度もインクルーシブクラブを引き続き実施。上期と下期に分けて実施。

- ①5月～9月（上期）・・・「マリンスポーツ体験会」
 - ②10月～2月（下期）・・・「ヒップホップダンスクラブ」（定期教室）
- ※今年度同様、パラスポーツ体験会にてヒップホップダンスを披露し、スポーツ少年団との交流を図る計画。